

# ペリー公園

Perry Park

## ペリー公園

- 入園料 無料
- 開園時間 24時間
- 休園日 なし

## ペリー記念館

- 入館料 無料
- 開館時間 9:00 - 16:30
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始

### ■アクセス

#### 電車・バスで

京急久里浜駅より

2番バス乗り場 野比海岸行き 約9分

JR横須賀線久里浜駅より

5番バス乗り場 野比海岸行き 約7分  
いずれもペリー記念碑下車

#### 車で

佐原I.Cより約4km 浦賀I.Cより約4km

※ペリー公園およびペリー記念館には駐車場はございません。  
近隣の駐車場をご利用ください。

バス専用有料駐車場あり※事前予約制



〒239-0831 神奈川県横須賀市久里浜7-14

お問合せ ☎ 046-834-7531(ペリー記念館)

指定管理者 横須賀花の国・西武パートナーズ

☎ 046-833-8282(くりはま花の国管理棟)

<http://www.kanagawaparks.com/kurihama-perry/perry/>

ペリー公園

検索



## ペリー公園について

入園料 無料

開園時間 24時間 休館日 なし

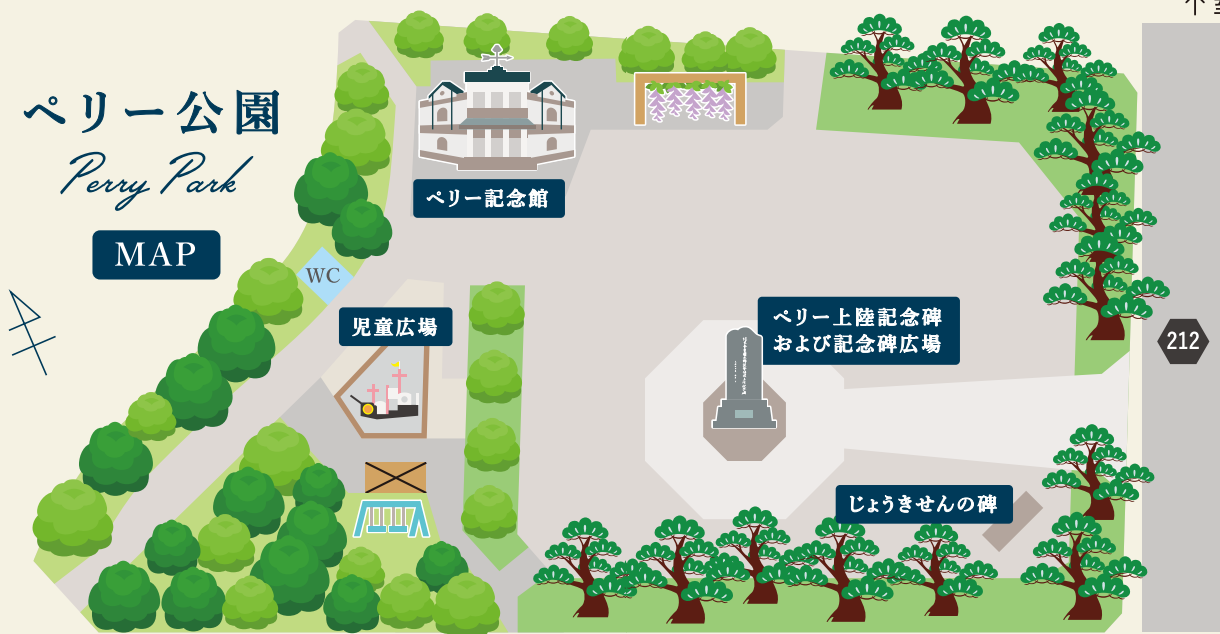
日本の歴史公園100選にも選ばれている、ペリーの久里浜上陸を記念して作られた歴史公園。園内にはペリー記念館、ペリー上陸記念碑および記念広場、児童公園があり、約350本の松の緑の向こうに久里浜の海と青い空が広がる見事な景観も魅力。太極拳や音楽会などのイベントも行われる等、市民の憩いの広場として親しまれています。また、毎年7月には、ペリー公園を会場として久里浜ペリー祭を開催。記念式典やパレード、花火大会などが行われ、10万人近くの人で賑わいます。

## ペリー上陸記念碑・記念碑広場



ペリー上陸の足跡を伝えるため、1901(明治34)年に米友協会が建立。碑文【北米合衆国水師提督伯理上陸紀(記)念碑】は、初代内閣総理大臣・伊藤博文の揮毫によるものです。

↑ 至浦賀



## 児童広場

黒船をモチーフにしたすべり台付きの複合遊具や広い砂場、ブランコなど、小さなお子様が遊べる広場です。



## じょうきせんの碑

泰平のねむりをさますじょうきせん  
たった四はいで夜も寝られず

「上喜撰」というお茶の銘柄と「蒸気船」を掛けて「お茶を4杯飲んだら寝られなくなった」「蒸気船が4隻来たら大騒ぎで寝られなくなった」という驚きを端的に表現した落首です。「久里浜村誌」によれば、この落首は、老中間部詮勝(まなべあきかつ・号 松堂)作ともいわれています。



久里浜海岸

# ペリー記念館

横須賀市市制80周年を記念して1987(昭和62)年に建てられた記念館です。ペリー来航と開国の歴史を広く伝えるため、当時の様子がわかる貴重な資料等を展示しています。

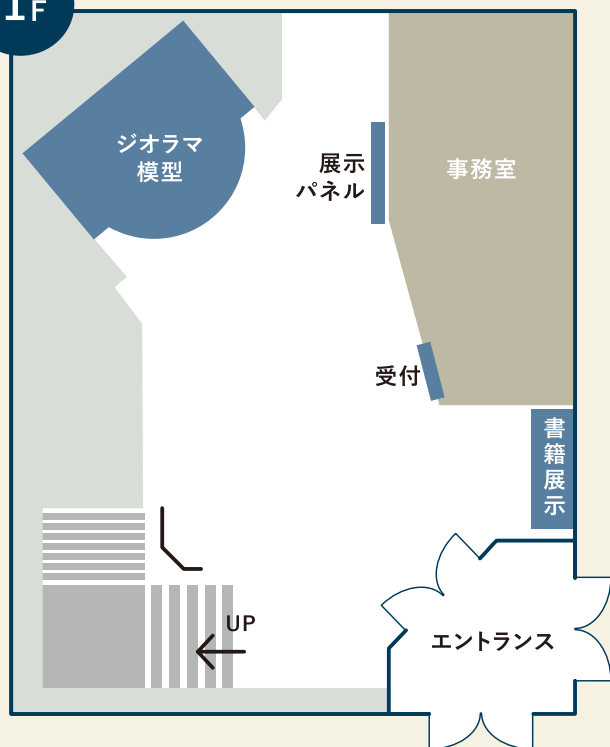
入館料 無料 開館時間 9:00~16:30

休館日 月曜日(祝日の場合翌日)・年末年始



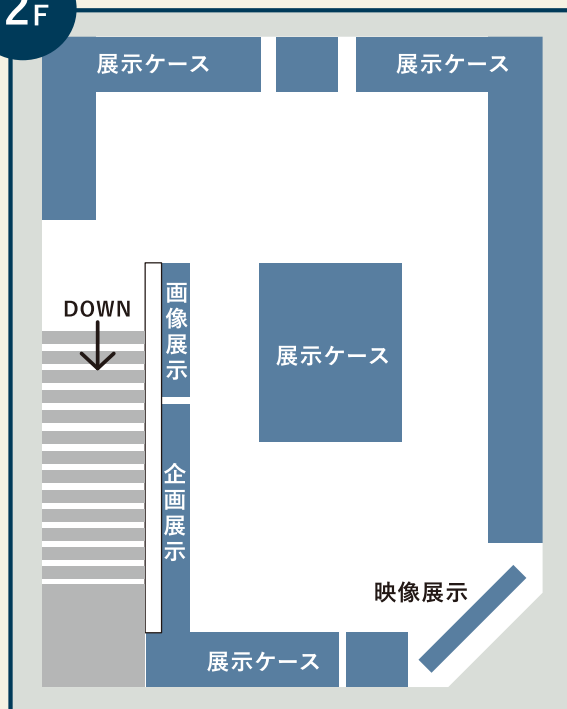
当時の様子を再現した  
ジオラマ模型の展示ホール

1F



ペリー上陸にまつわる  
貴重な歴史的資料を展示

2F



## 記念館スタッフによるガイド

係員がペリー公園に関する歴史や概要をご説明するガイドを行っています。ご希望の方は、1階受付でスタッフにお申し付けください。電話予約も可能です。

所要時間 15分程度



# 久里浜上陸そして開国へ

## 黒船と久里浜 //////////////////////////////////////

1853年7月8日(嘉永6年6月3日)、浦賀沖に突然姿を現したペリー提督率いる4隻の黒船は、鎖国中の日本人を大変驚かせました。ペリー艦隊は戦闘態勢で、今までとの異国船とはずいぶん様子が違っていました。



日本の版画に描かれたペリー



ペリー上陸図(ハイネ画)

ペリーは日本側を威圧しながら親書の受け取りを要請。「このままでは戦争になりかねない」と江戸幕府に訴えた浦賀奉行の意見が通り、久里浜で親書を受け取ることが決定しました。1853年7月14日(嘉永6年6月9日)、ペリー一行が久里浜に上陸。親書を受け渡すきっかけとなり、約220年続いた鎖国制度は幕を下ろしたのです。



久里浜親書請取(ハイネ画)

# ペリー提督について

## ペリー提督(マシュー・カルブレイス・ペリー) //////////////////////////////////////

1794年アメリカ・ロードアイランド州ニューポート生まれ。英米戦争の英雄として知られる9歳上の兄の影響を強く受け、15歳でアメリカ海軍に入隊、世界の海で士官の経験を積みました。蒸気軍艦の必要性をいち早く唱え、その先見性から「蒸気海軍の父」と呼ばれるようになりました。1858年ニューヨークで63年の生涯を閉じました。



## 日本へ //////////////////////////////////////

1852年1月東インド艦隊司令長官に任命され、ペリーに「日本を開国させるべし」の任務が言い渡されました。その目的は、通商と太平洋上の石炭補給拠点の確保にありました。当時、アメリカは清(今の中国)との貿易を考えていたため、太平洋を横断して20日程度で中国に着く経路地として日本に注目したのです。

同年11月、アメリカ大統領の親書を携えて蒸気船ミシッピ号はアメリカ東海岸ノーフォークを出航。ケーブタウン、香港、沖縄を経由し、サスケハナ号と帆走軍艦サラトガ号、プリマス号と合流しながら浦賀(横須賀)へ向かいました。そして1853年7月8日(嘉永6年6月3日)、ペリー提督に率いられたアメリカ東インド艦隊4隻が浦賀沖に入港しました。



ミシッピ号の航路